



2020年7月4日

三育学院看護部会同窓会便り 第一報

同窓会会長 宮城眞理 (27回生)

三育学院看護部会同窓生の皆様 お元気でいらっしゃいますか。

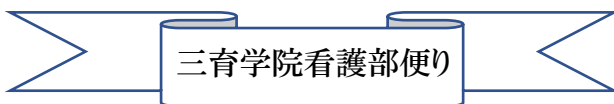
新型コロナウイルス感染が世界中に猛威をふるい多くの尊い命が失われ、医療、経済破綻が起こり、私たちの生き方まで変化を強いられています。そんな中ですが、予てより、総会のみでの交流ではなく、皆様の交流の場として同窓会便りを発行してはどうかとの提案が役員会でなされていたので、ここに第一報をお送りします。今後は皆様からの近況報告をはじめ、お写真、短歌などを気軽に送っていただき、同窓会員の交流の場として継続されることを願っております。



西表ヤマネコ記念碑前

経費の都合もあり、お手元には各クラス役員からメール、ラインで送っていただくことをメインとし、その他通信機器をお持ちでない方は直接郵送の形を取らせていただきますことをご了承ください。

私自身は三育大学看護学部で SDA の特徴でもある内容を含めた健康教育論のクラスは継続して教えていますが、フルタイムとしての看護学部の教員生活を終えて沖縄に戻り、趣味や介護、仕事で東京との行き来の際に、沖縄探索を楽しんでおり、右上のような写真しかなく、失礼いたします。



三育学院大学看護学部長 鈴木純恵(30回生)

看護部同窓会の皆様

梅雨の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。4月に大学院が開設され、本来ならば大学院生を迎え、初めての学部と大学院の合同入学式が挙行されるはずでした。しかし、コロナ禍のため、入学式はおろか、学部の対面授業も開始できないままに延び延びになり、現時点では、8月～9月に学年ごとに日程をずらして入寮・対面授業を開始する予定です。



本学の対面授業は寮生活が前提になるので、授業での3密に加え、寮生活での3密も避ける必要があるため、集団感染とのかけひきで難しい判断が迫られています。

対面授業の開始のめどが立たなかったため、4月から学生に課題を出し、5月13日からWEBによる授業を開始しました。教職員も学生も慣れていないため、ソフトの選択や学生のWiFi環境の確認、学習関連の書類を寮から自宅へ送付するなど、短期間に様々な対応に追われました。最も気がかりだったのは、9月からの3年生の実習ができるかどうかでした。幸い衛生病院の配慮で受け入れて頂けるとのことで、次年度に2学年と一緒に実習するという大変な事態が回避できて、ひと安心！



大多喜キャンパスのアジサイ

特に1年生については、教員も学友もよく知らないで、一人PCに向かって

勉強しなければならないのは、様々な不安があると思われます。3年生がWEBによるスマイルサポート(写真)なる交流会を月に2回行い、上級生のやさしさを感じ、横とのつながりも徐々にできている様子です。また、経済的影響として、学生がいない期間に関わる諸費用等の減額徴収に加え、WEB授業の導入等による支出増が生じ厳しい運営が強いられています。一方、学生もアルバイトの解雇により、経済的に困っているケースも生じています。国からの支援はあるものの、十分応えきれていない状況です。入試広報についても、オープンキャンパス(OC)や高校訪問ができないため、WEBによるOCを試みています。6月5日に、千葉テレビで「シャキット」という番組で約5分間本学が紹介されましたが、短時間でよく紹介されたと好評のため、HPにアップしました。ご覧になって頂ければ幸いです。大学院については、5名の新入生と5名の特任教員を迎えました。早くからWEBによる授業を導入し、遠方の方にも大学院を活用しやすいよう取り計らっていきたいと思います。最後になりましたが同窓生や関連の方々からのご寄付を頂き心より感謝申し上げます

東京衛生アドベンチスト病院における新型コロナウイルス対策の報告

三育学院看護部会同窓会の皆様いかがお過ごしでしょうか。
いつも東京衛生アドベンチスト病院のためのお祈りを感謝します。

当院の近況のお知らせとして新型コロナウイルス感染対策の状況をご報告いたします。2020年4月に東京衛生アドベンチスト病院を含めた杉並区の4つ基幹病院が「新型コロナウイルス発熱外来」を実施することが全国放送され、当院での感染対策のために多くの看護学科の卒業生より「祈っています」と連絡をいただき大変励まされています。



新型コロナウイルス対応病棟開設準備手伝い

看護部の大きな変化としては、PCR外来と新型コロナウイルス対応病棟を開設したことで、担当する看護師たちは日々緊張と戦いながら頑張っています。組織としての感染対策と看護師一人ひとりの丁寧な看護実践を心がけたことにより、これまで入院患者や職員の院内感染が一人もありません。これは職員の努力だけでなく、神様からの特別なお守りがあり、医療が継続できていると感謝しています。新型コロナウイルスの第2波がいつ来るのか不安ですが、いつでも対応できるよう日々訓練と準備を行っています。地域の方々が安心して医療を受けられるように努力していきますので、今後とも御加持よろしくお願いたします。



新型コロナ対応病棟にて防護具
着脱訓練の様子

グループホーム希望の家、

松山光枝様より(21回生)

松山様は現在九州でグループホーム希望の家、
デイサービス希望の家 小規模多機能ホーム希望の家
シルバーホーム希望の家を運営されています。

その多忙の中にあってもフェイスブックには実に楽しい写真
やコメントを掲載されています。そのユーモアに富んだ内容に自然と
笑みがこぼれます。

皆様もぜひご覧ください。



バードウォッチングにはまっています



梅ジュースの出来上がり



畑で出来たキュウリの初なり 35cm

私は、現在シャローム名護というデイサービスで働かせて頂いています。入居者のほとんどは SDA の信者の方です。そうはいっても年を重ね、体力、知力、集中力の低下は否めません。立て続けの運動や手工芸 漢字やスケッチ等の学習はある方にとっては、忍耐を要することでしょう。しかし日がたつにつれ毎日なされる礼拝、やアクティビティを通して、生き生きとされ歩く時のバランスもよくなり、忘れかけていた讚美歌も思い出され方々もいます。



左から 当久美子さん、比屋根さん、名嘉良子さん

沖縄の方言で三線などの調弦という意味に使われる言葉に **ちんだみ**という言葉があります。シャロームの利用者の方々が、この施設において主を讚美歌し続けられるよう、天の神様と調和して穏やかな日々が過ごせますよう、**ちんだみ**のような援助が、出来れば幸いです。

和みの会から

31回生(75年卒)町田和子



沖縄の赤嶺美保子さんのアイデアで、全員一致でなごみ、和みの会と決まりました。

私達は、同窓会を2年に一度開催しており、親交を温めております。

今まで、東京(町田和子)、沖縄(赤嶺美保子)、愛媛(小島佐代美)、福島(松本喜久子)、と、リレーして来ました。今度は来年、横浜開催(横山陽江)の予定です。新型コロナウイルスが、早く終息してほしいものです。

お知らせ



○ 江本愛子先生ご逝去

三育学院の看護の礎を築かれた江本愛子先生が去った2020年4月21日に、ご逝去されました。享年87歳

○ 林高春先生ご逝去

東京衛生アドベンチスト病院 名誉院長の林高春先生が去った2020年3月15日に、ご逝去されました。享年92歳

ご両家ともコロナウイルス感染症のため正式な追悼会を行うことができず、葬儀はご家族のみで行われました。ご両家の家族の皆様の上には、お慰めが豊かにございますように、お祈り申し上げます。

2020年9月27日開催予定の看護部会同窓会は新型コロナのため中止とします。

なお 来年2021年9月26日開催予定の総会までは現役員が続行いたしますのでご了承ください。



編集後期 同窓会便りを皆様のご協力で開催できたことを 感謝いたします。

今後不定期でも発行出来たらと考えておりますので皆様からの投稿をお待ちしております。

まだ不安な状況は続きますが、来年持たれる予定の同窓会には皆様方の元気なお姿を拝見できますことを願い、お祈りいたしております。

看護部会同窓会役員一同

投稿先、連絡先 sanikukango04@gmail.com 役員用メール

marimiyagi@gmail.com

宮城会長メール、090-7922-1521 携帯電話